岩手
盛岡総局
〒020-0021
盛岡市中央通1-6-20
☎ 019-624-2211
fax 019-624-2229
E-mail iwate@asahi.com
岩手地域情報
http://www.asahi.com/area/iwate/
@asahi_morioka
購読・配達のご用は
☎ 0120-33-0843
(7:00～21:00)
広告のご用は
☎ 019-623-6475

天気

6～12時 陸水曜車 12～18時

盛岡	一関	宮古	大船渡
20	60	60	40
60	10	10	20
80	20	20	20
80	20	20	20

	盛岡	一関	宮古	大船渡
	南	南	南	南
風向	南西	南南東	南南東	南南東
波	湿度 70%	波 3.0m		
気温	最高	最低		
盛岡	28度	19度		
一関	25度	19度		
大船渡	26度	21度		

あす

	盛岡	宮古
	西南西	北東

月齢19.0

	日出	日入
7月18日(旧6月20日)	4:22	19:01
8月	5:33	19:24
9月	6:12	18:35

潮 18日・中潮 宮古湾

	時	分
満潮	5:33	12:35
干潮	0:02	

職員募集
県立 正職員 契約職員
大槌種正職員への登用制度あり
看護師
●看護教育システムでの育成
●研修制度あり
●看護師寮完全個室
●院内保育所併設
看護補助
(医療事務制度
医之業制師制度
医之業制師制度あり)
薬剤師
●キャリアプランでの処方の
実務取得支援制度あり
●給与・待遇・当直体制・休暇制度について
●応募方法・電話番号・募集職種等は
*応募に伴う書類・準備費用無料

590人感染 1人死亡

新型コロナ

県と盛岡市は16日、新たに590人の新型コロナウイルス感染(クラスター(集団)関連【二段目】
●●●●●● 秋 盛(宮) 東19
●●●●●● 滝(奥) 中(岩) 関29
●●●●●● 関 玉(二) 関64
【一段】
●●●●●● 猪(花) 巻(岩) 西65
【六(八)】
●●●●●● 曾 我(盛) 岡(岩) 西19
●●●●●● 和 江(二) 已(東)13
0●●●●● 時刻は午前0時～3時

郷土力士 星取表

7日目

1人の感染(ことし6人目)と、盛岡市の80代女性1人の死亡を確認した。累計の感染者は4万2513人、死者は99人。

保健所別の新規感染者数

保健所	人数	前日比
盛岡	281	+73
宮古	19	+5
大船渡	19	+3
花巻	65	+16
北上	58	+15
一関	86	+23
奥州	63	+16
計	590	+151

盛岡市内の新規感染者は281人で、1日の感染者数としては過去最多となった。

盛岡市内の高齢者施設では、クラスターが相次いで発生。入所者と職員の感染が確認された。

3・11 そのとき そして ▶3679

避難所で妊婦さんに

一行は盛前高田市の高田松原津波復興祈念公園を訪れた後、釜石市の釜石鵜住居(うのすまい)復興スタジアムに移動。

避難所で妊婦さんに寄り添う助産師の佐藤さん(右)＝2011年4月、釜石市の鵜住居小学校

母が行方不明だという。

避難所では多くの女性が不安な夜を過ごしていた。今も祖母と住民と信頼関係を築いてきた佐藤さんは、「今日生きようと思ってもらえるように」と話す。

(小幡淳一)

しスキュー隊員として尽力

消防活動に当たる中村隊員＝2011年3月、宮古市

宮古市消防本部の中村隊員(30)は、震災の翌朝、同僚と2人組で出場した。

自分を育ててくれた祖父母が住む郷土を救いたいという思いがあった。

ただ生きようと考えていたという。

「今日をどうやって避難経路の把握を見ると女性や子どもの姿が。そんな生活でも助かった。そのうえで、警察官として住民と信頼関係を築くことが大切だと感じた。

(小幡淳一)

590人感染 1人死亡

新型コロナ

県と盛岡市は16日、新たに590人の新型コロナウイルス感染(クラスター(集団)関連【二段目】
●●●●●● 秋 盛(宮) 東19
●●●●●● 滝(奥) 中(岩) 関29
●●●●●● 関 玉(二) 関64
【一段】
●●●●●● 猪(花) 巻(岩) 西65
【六(八)】
●●●●●● 曾 我(盛) 岡(岩) 西19
●●●●●● 和 江(二) 已(東)13
0●●●●● 時刻は午前0時～3時

郷土力士 星取表

7日目

1人の感染(ことし6人目)と、盛岡市の80代女性1人の死亡を確認した。累計の感染者は4万2513人、死者は99人。

保健所別の新規感染者数

保健所	人数	前日比
盛岡	281	+73
宮古	19	+5
大船渡	19	+3
花巻	65	+16
北上	58	+15
一関	86	+23
奥州	63	+16
計	590	+151

盛岡市内の新規感染者は281人で、1日の感染者数としては過去最多となった。

盛岡市内の高齢者施設では、クラスターが相次いで発生。入所者と職員の感染が確認された。

3うきん ん うきん
カーピロー ッ
マイプラン MY PLAN CARD
事前審査は24時間インターネットで!
東北労働金庫 岩手 盛岡

潮 18日・中潮 宮古湾

	時	分
満潮	5:33	12:35
干潮	0:02	19:24

海藤巡査(22)津波避難経験語る

震災時の様子を語る海藤巡査＝釜石鵜住居復興スタジアム

警察学校 初任科生が被災地研修

11日、県警察学校の初任科生が、小学生の時に津波から逃げた際の話になった。「自分の命は助けられない」と話す、人の命を助ける警察官の仕事を学ぶ研修だった。

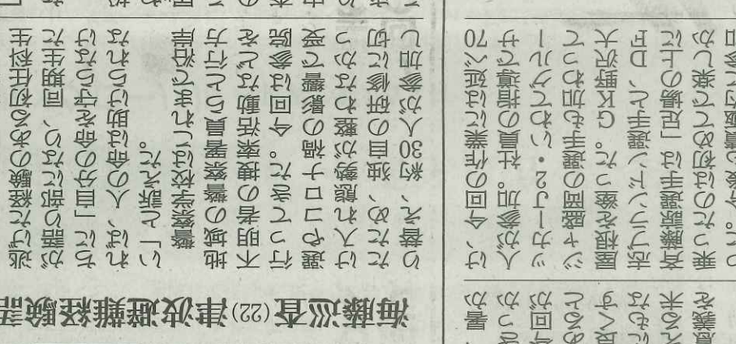
いわき市が消防士の募集を行っていた当時、小学6年生だった海藤巡査(22)は、「自分の命を守ってくれる人に憧れた」と、消防士を志望していた。

しかし、東日本大震災の発生で、「津波から逃げるのに精一杯で、人を助けるどころではなかった」と、消防士の夢を諦めたという。

その後、警察官になった海藤巡査は、「震災の経験を伝えることで、人の命を助けることができる」と、警察官の仕事に誇りを持つようになったという。

(佐藤真紀)

屋根に断熱塗料 学童涼しく



塗装途中の屋根にこうえ水を取る作業をする、いわてグルーン＋盛岡の選手ら＝盛岡市山岸、川上塗装工業提供

盛岡の塗装会社が奉仕活動 J2選手も参加

学童クラブの屋根に遮熱・断熱塗料を塗って暑さを和らげようと、そんな活動「ホワイトルーフプロジェクト」が盛岡市の塗装会社を中心に始まり、初夏を上げている。

最高気温が30度を超した7日、同市の山岸学童クラブのトタン屋根約230平方㍍を、計10日かけて一げ(JAX)のロケットにも使われた空研究開発機構(JAX)作業が終了した。平屋建ての部屋のエアコン2台を20度に設定しても冬は14畳の部屋のエアコン2台をかけるが、塗装後は真夏も日中、中学生に誘導されて帰宅(63)が、黒い津波が迫るの5年生だった藤原成樹巡査部長を見ると安心した」と振り返った。そのうえで、警察官として避難経路の把握や住民と信頼関係を築くことの大切さを語った。

(小幡淳一)

大槌から再び

Wボイス選出に向けて練習に励むス平野恵里子さん＝静岡県袋井市のエコパスタジアム

大学入学前に震災 避難

中、コロナ禍で入国制限の影響で来日できなくなった。

「新日鉄釜石がなければ今の私はない」と話す、連覇した釜石をOGの前で

前回大会は11位

2016年8月30日、台風10号が大船渡市付近に上陸し、県内で29人が犠牲になった。特に岩泉町では小学校や上水道や道路などの生活インフラが広範囲で壊滅的な被害を受けた。

2日目の朝、崖のすぐ近くまで迫っていて、足を滑らせたらどうなるか分からない状態だった。中村さんらは、特殊な装備を着けて、ロープを伝って崖を下りた。

自分を育ててくれた郷土の人たちや、東日本大震災の時、救助や捜索にあたってくれた他自治体の人たちに、少しでも恩返しができたらと、大学入学前に震災ボランティアを志した。

その後の中村さんは救助技術を磨き、技術を競う全国大会に同僚と2人組で出場して優勝したこともある。なぜか中村さんの当番の日に大きな事故現場に向かうことが多く、燃えさかる火の中に飛び込んで要救助者を、崖から引き揚げたこともあった。

自分を育ててくれた郷土の人たちや、救助や捜索にあたってくれた他自治体の人たちに、少しでも恩返しができたらと、大学入学前に震災ボランティアを志した。

その後の中村さんは救助技術を磨き、技術を競う全国大会に同僚と2人組で出場して優勝したこともある。なぜか中村さんの当番の日に大きな事故現場に向かうことが多く、燃えさかる火の中に飛び込んで要救助者を、崖から引き揚げたこともあった。

中、コロナ禍で入国制限の影響で来日できなくなった。

「新日鉄釜石がなければ今の私はない」と話す、連覇した釜石をOGの前で

前回大会は11位

2016年8月30日、台風10号が大船渡市付近に上陸し、県内で29人が犠牲になった。特に岩泉町では小学校や上水道や道路などの生活インフラが広範囲で壊滅的な被害を受けた。

2日目の朝、崖のすぐ近くまで迫っていて、足を滑らせたらどうなるか分からない状態だった。中村さんらは、特殊な装備を着けて、ロープを伝って崖を下りた。

自分を育ててくれた郷土の人たちや、東日本大震災の時、救助や捜索にあたってくれた他自治体の人たちに、少しでも恩返しができたらと、大学入学前に震災ボランティアを志した。

その後の中村さんは救助技術を磨き、技術を競う全国大会に同僚と2人組で出場して優勝したこともある。なぜか中村さんの当番の日に大きな事故現場に向かうことが多く、燃えさかる火の中に飛び込んで要救助者を、崖から引き揚げたこともあった。

(東野真和)